



▲迫力のあるダンスを披露する森山さん

**FUKUSHIMA&KOBEBE
祈りと希望のコンサート・ダンス**

3月5日、コミネス（会津町）で神戸との連携事業「FUKUSHIMA&KOBEBE祈りと希望のコンサート・ダンス」が行われました。画家の加川広重さんが描いた巨大水彩画「飯館村」を背景に、第1部では歌とピアノによるコンサート、第2部では「まちづくり・震災復興と文化・芸術」と題したシンポジウムが行われ、パネリストが文化の力と心の復興などを語りました。第3部では、森山開次さんの迫力あるダンス公演などが行われ、会場に詰めかけた多くの観衆を魅了しました。



▲表彰式に出席した受賞者のみなさん

体育・文化成績優秀者表彰式
児童・生徒の活躍をたたえる

2月23日、りぶらん（道場小路）で、「平成28年度体育・文化成績優秀者表彰式」が行われ、体育や文化、音楽活動で優秀な成績を収めた児童・生徒の代表30人と学校賞を受賞した五箇小に賞状とメダルが手渡されました。

受賞者を代表して、都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に出場した河合紅瑠美さん（白二中3年）があいさつし、「次の目標の実現に向かって、努力を積み重ねていきたいと思えます」と今後の抱負などを述べました。



▲復興支援ソング「花は咲く」を歌う田嶋さん（中央）と参加者

**第5回震災復興音楽祭「希望」
歌声に願いを込めて**

3月11日、コミネスで、しらかわ音楽の祭典事業「第5回震災復興音楽祭「希望」」が開催されました。前半の市民ステージでは、合唱や演舞など40団体が日頃の練習の成果を発表し、後半のゲストステージでは、シャンソン歌手の田嶋陽子さんが楽しいトークと歌で会場を盛り上げました。

最後には、田嶋さんも加わり市民歌「このまちがすき」とNHK復興支援ソング「花は咲く」の全体合唱が行われ、参加者が一体となって復興への願いを歌に込めました。



▲使用した地元食材の説明を行う山田シェフ

「食して！ナットク」
安全安心な食材でイタリアン

2月24日・25日の2日間、ひじりん館（大信増見）の四季彩キッチンDenで、「食して！ナットク」と題した安全安心な地元食材のPR事業が行われました。

世界パスタ選手権で優勝した山田剛嗣シェフが、新鮮な野菜を使ったサラダのほか、白河高原清流豚やじやがいもなどを使った前菜やパスタなどのメニューを考案し、両日限定105食が無料で提供されました。同メニューは、四季彩キッチンDenの新メニューとして提供されています。



▲プロの役者とともに舞台上立つ子どもたち

**白河版オペラ「魔笛」公演
市民参加型の夢の舞台**

3月20日、コミネスで、「FUKUSHIMA白河版オペラ『魔笛』」の公演が行われました。

この舞台はモーツァルトの傑作「魔笛」を白河版にリメイクしたもので、一部の役者や子役を一般公募したほか、合唱をコミネス混成合唱団が務めるなど、運営ボランティアを含め延べ150人の市民がプロの音楽家や演奏家と一緒に、夢の舞台を創り上げました。

公演終了後は、会場から歓声が沸き起こり、出演者や演奏家に惜しめない拍手が送られました。



▲議場で演奏を行う大竹さん（左）と堀内さん（右）

初の議場コンサート
身近で親しみやすい議会へ

3月1日、市民に開かれた親しみやすい議会を目指し、3月定例会の開会に先立ち「白河市議会議場コンサート」が開かれました。

昨年10月の文化創造都市宣言を受けて行われたもので、地元在住の大竹うららさん（ヴァイオリン）と堀内由起子さん（ピアノ）が、フリッツ・クライスラーの「愛の喜び」など4曲を演奏し、議場に美しい音色が響き渡りました。

傍聴席には多くの市民が来場し、演奏後は歓声とともに大きな拍手が送られました。